

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
英語 コミュニケーション		選択必修	1	1.2	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon	(火、金) 13:00～17:00			
授業の目的・概要	<p>目的：プレゼンテーションは情報や自己の意見、提案、研究の成果等を決められた時間内に他者に伝える表現法である。グローバル化が進む中、英語でのプレゼンテーション能力を身につけることはますます重要になってくる。本授業では、英語で行うプレゼンテーションの技能を修得することを目的とする。</p> <p>概要：一方向と双方向のコミュニケーションに必要なスキルの主な違い（明瞭さ、声の大きさ、発音など）について説明される。自己の知識や意見、情報を相手に伝えるための効果的な情報のまとめ方やプレゼンテーションに必要なソフトの操作技術を指導する。グローバル化に関連するテーマを課題に実践的なプレゼンテーション能力や質疑応答の方法も習得できる内容となっている。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート	
学習上の助言	プレゼンテーションの練習は自分で録画し再生することで、自己の弱点に気づき、改善するために良い方法である。					
教科書	無し					
参考書	必要に応じてプリントを配布する。					
外部教材	無し					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語で情報を収集し効果的にまとめることができる。			HSU(2)		
②	パワーポイントを使った英語プレゼンテーションができる。			HSU(2)		
③	効果的な英語プレゼンテーションをするための要素を理解し応用できるようにする。			HSU(2)		
④	プレゼンテーションにおいて英語で質疑応答ができる。			HSU(2)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション—シラバス (授業内容、成績評価法等) 及び授業の進め方について理解する。	講義・演習	シラバスを確認する。	0.25		
2	英語で効果的なプレゼンテーションを行うための重要なスキルと、それらのスキルが会話スキルとどのように、そしてなぜ異なるのかを学ぶ。学んだスキルのいくつかの練習を開始する。	講義・演習	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.25		
3	クラスで事前に作成されたスピーチを発表し、自信をつけ、発音、音量調節、アイコンタクトスキルの練習を始める。	講義・演習	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
4	ブレイクストーミング、ワードウェブの概要、およびこれらの方法を使用してプレゼンテーションを計画する方法について学ぶ。プレゼンテーションスキルの練習を続ける。	講義・演習	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
5	これまでに学んだスキルを使用し、ペアでクラスメイトにインタビューを行い、その人をクラスの他のメンバーに紹介する短いプレゼンテーションを作成する。コミュニケーションスキルを練習し続ける。	講義・演習	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		
6	作成したプレゼンテーションを発表する。教師からフィードバックを受け取る。プレゼンテーションスキルの練習を続ける。	講義・演習	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
7	優れたプレゼンターの例を見て、彼らのテクニックのいくつかを学ぶ。それらのプレゼンターがプレゼンテーションを通じて何を達成しようとしていたかについて話し合う。	講義・演習	配布されたスピーチを読んで自分自身を録画することにより、発音等を練習する。	0.5		
8	パワーポイントを効果的に使用方法と、パワーポイントの設計に関する一般的な問題について学ぶ。プレゼンテーションスキルの練習を続ける。	講義・演習	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.5		
9	ペアで意識を高めたり、何かについての意見を述べたりすることを目的としたパワーポイントプレゼンテーションを作成して、パワーポイント作成スキルを練習する。	講義・演習	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		
10	ペアで意識を高めたり、何かについての意見を述べたりすることを目的としたパワーポイントプレゼンテーションを作成して、パワーポイント作成スキルを練習する。	講義・演習	プレゼンテーションを作成して練習する。	2		

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

11	パワーポイントのプレゼンテーションを発表し、プレゼンテーションスキルを練習する。先生からフィードバックを受け取る。	講義・演習	教師からのフィードバックを取り入れながら、自宅でプレゼンテーションを行ってみる。	0.5
12	プレゼンテーション後の Q&A の準備と対処方法を学ぶ。	講義・演習	メモとクラスで配布された資料を確認する。	0.5
13	ペアで誰かに自分のアイデアを採用するよう説得するためのプレゼンテーションを作成することにより、スキルを練習する。	講義・演習	プレゼンテーションを作成して練習する。	2
14	ペアで仮想でつくった委員会（例えば市の環境推進プロジェクト、子供支援、リハビリ推進等）に自己のアイデアを採用するよう説得するためのプレゼンテーションを作成し、スキルを練習する。	講義・演習	プレゼンテーションを作成して練習する。	2
15	クラスで説得力のある最終プレゼンテーションと Q&A を行う。	講義・演習	教師からのフィードバックを取り入れながら、自宅でプレゼンテーションを行ってみる。	1
試	最終成績は、クラスで行われたプレゼンテーションに基づく。 (以下を参照)。			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	60	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	20	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	10	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
レポート	①	✓	3回のプレゼンテーション原稿を評価する。スピーチの原稿(ある場合はプレゼンテーションの原稿も)を提出する。1回目の原稿が5%、2回目15%、3回目20%、合計40%とする。情報内容の充実度、明確さ、論理性を評価する。				スクリプトの添削、返却
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		3回のプレゼンテーションを行う。1回目はクラスメイトの紹介、2回目は意見を述べる課題、3回目は説得力のある議論であり、Q&Aが続く。配点は1回目10%、2回目20%、3回目30%、合計60%とする。発音、声量、アイコンタクト等のプレゼンテーション技術の評価を行う。				プレゼンテーション後にピア・フィードバック、自己評価を行う。教員評価を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	16年間日本で英語を教えること、そしてその中の7年間は健康科学大学で英語を教えること。						
実践的授業の内容	このクラスは、学生の英語を話すだけでなく、一般的に効果的なプレゼンテーションを行う能力を向上させることを目的としている。プレゼンテーションを通じてアイデアを伝える能力は、英語の範囲を超えた複数の利点がある便利なスキルである。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの一般的な長さや授業時間の制限により、このクラスの最大人数は20人とする。 ・スピーチクラスの性質上、感染のリスクは通常よりも高くなる可能性がある。従って教室の換気が頻繁に行われるため学生は温度調整ができる服装で参加することを推奨する。また、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法（マスク着用等）を遵守すること。問題がある場合には面接授業の参加を認めない。 ・時間の制約により、クラスの最終日にすべての学生が最終プレゼンテーションを行うことができない場合、残りの学生は期末定期試験指定時間にプレゼンテーションを行う（全員参加）。ただし、このように発表日が遅れた場合でも、授業最終日に発表のための原稿とパワーポイントの両方のデータを提出する必要があるため注意すること。 						